

# 全苗連だより

Vol. 92 (12月号)

令和3年12月24日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

## 令和4年度林野庁予算の概算決定の概要

森林整備事業(林野公共预算)は、1,248億円(経常分)(対前年度比100.1%) + 3年度補正追加額461億円で1,709億円(137.1%)で決定

非公共事業は1,236億円(116.1% \*3年度補正追加額含む)となり、森林・林業・木材産業によるグリーン成長を推進する中で、再造林の推進に資するコンテナ苗生産基盤施設の整備等に取り組むことが決定

政府は12月24日の閣議で、令和4年度予算について概算決定しました。

今年は、12月20日に令和3年度補正予算が成立しており、いわゆる「15ヶ月予算」が組み上がりました。それでは令和4年度林野庁予算概算決定の概要をお知らせします。

種苗関連予算については、公共事業、非公共事業とも令和3年度予算内容を基本的に踏襲したものとなっています。

まず森林整備事業予算(公共事業)については、4年度当初予算が一般会計で1,248億円(対前年度比100.1%)となっています。3年度補正追加額(防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等)の461億円を合すると1,709億円となり対前年度比137.1%となっています。森林整備事業はカーボン・ニュートラルを見据えたグリーン成長を実現するため、森林吸収量の確保・強化や国土強靱化、林業の持続的発展等を図るべく、主伐後の再造林の省力化・低コスト化等を推進することになります。

予算の重点事項のテーマは『カーボンニュートラル実現に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長』となっており、主要な種苗生産に係る支援措置は以下のとおりです。

「森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策等」の中に「林業・木材産業成長産業化促進対策」があり、令和3年度に引き続きコンテナ苗生産基盤施設の整備等に対する支援の枠組みが位置づけられました。この中には、種子選別機や環境制御室等の導入等もメニュー化されていますので、従来の「個々の苗木生産者が種子から苗木を作る」体制に加え、「発芽から幼苗までを協同組合組織等が担い、その後の育苗を生産者が行う」分業を推進し、効率的な種苗生産システムを構築することが期待されています。なお、普通苗(裸苗)の生産に係る灌水施設等の整備には3年度補正追加額が活用できますのでご留意願います。

「グリーン成長総合対策等」の中には、もう一つの柱である「林業イノベーション推進総合対策(拡充)」がありますが、種苗生産に係るものとして「早生樹等優良種苗生産推進対策(拡充)【174(128)百万円】」が令和3年度に引き続き要求されました(別添)。具体的には、造林コストの早期回収が期待できる早生

樹やエリートツリーの普及を加速するため、種穂の採取源の充実とともに苗木の生産技術の向上を図ること  
 とで、優良苗木の供給拡大を進めることとしています。

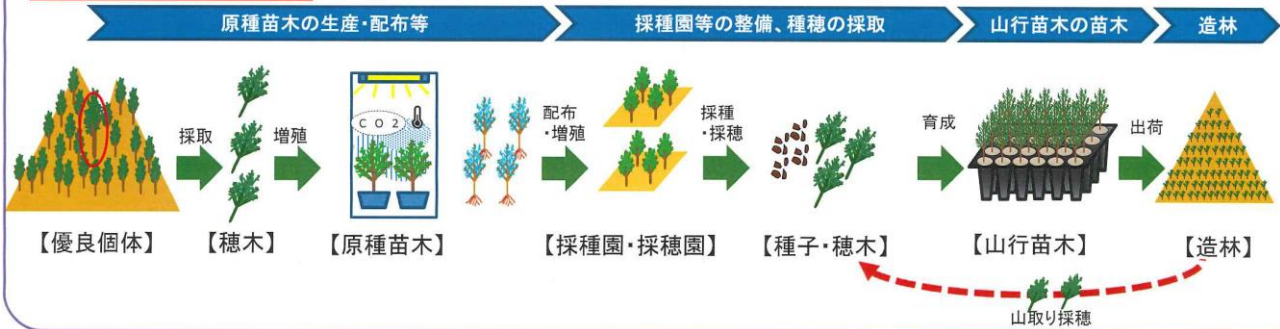
林業イノベーション推進総合対策のうち

**早生樹等優良種苗生産推進対策（拡充）**

【令和4年度予算概算決定額：174,195千円（128,008千円）】

造林コストの早期回収が期待できる早生樹やエリートツリーの普及等を加速するため、種穂の採取源の充実とともに苗木の生産技術の向上を図ることで、優良苗木の供給拡大を進める。

**苗木生産までの流れ**



**事業内容**

<input type="checkbox"/> 指定採取源の拡大 <p>採取源に指定するための遺伝子調査</p>	<input type="checkbox"/> 早生樹母樹林の保全・整備 <p>早生樹の採取源確保のための、母樹林指定、整備、種穂の採取等</p>	<input type="checkbox"/> 原種増産技術の開発 <p>採種園等を造成するための原種苗木の増産技術の開発</p>	<input type="checkbox"/> 採種園等の造成・改良、有効活用等 <p>種穂を採取するための採種園・採穂園の造成や国有林での種穂の確保</p>	<input type="checkbox"/> 山取り採穂の推進 <p>特定苗木の造林地で採穂するために必要な条件整備の実施</p>	<input type="checkbox"/> 苗木生産技術の向上等 <p>コンテナ苗の生産技術の向上に向けた研修の実施</p>	<input type="checkbox"/> 新たな苗木生産技術の実証 <p>生産期間の短縮が期待できる当年生苗の植栽の実証</p>
--	---	---	---	--	--	---

林業イノベーション推進総合対策のうち

**早生樹等優良種苗生産推進対策（採種園等の有効活用）（拡充）**

- 改正間伐等特措法により、令和12(2030)年度までに成長に優れたエリートツリー等の苗木による再造林を促進
- 「みどりの食料システム戦略」において、令和12(2030)年度に林業苗木の3割をエリートツリー等の苗木にする目標
- エリートツリー等の苗木の植栽地からも種穂を採取できるよう路網整備等の条件整備を行いエリートツリー等の苗木の種穂の採取源を早期に確保することが必要

**< 事業の内容 >**

**①利用されなくなった採種園等の園内整備**

旧採種園等に現存する母樹の種穂の採取環境等を整備して、現存する母樹から種穂の供給を可能とし、優良種苗の早期の安定供給に貢献する。

**利用されなくなった採種園等**



**国内の整備を実施**

不用木の除去



**整備後の状況**

**②利用されなくなった採種園等の母樹の更新**

旧採種園等をエリートツリー等の採種園・採穂園に改良し、エリートツリー等の種木等の早期の安定供給に貢献する。

利用されなくなった採種園等



母樹の植え換え (イメージ)



**③人工造林地に種穂の採取源として活用するための条件整備（拡充）**

花粉症対策苗木や早生樹の苗木に加え、エリートツリー等の植栽地において、種穂の採取のための路網整備等を行い、エリートツリー等の苗木の種穂の採取源を早期に確保し苗木の安定供給に貢献する。

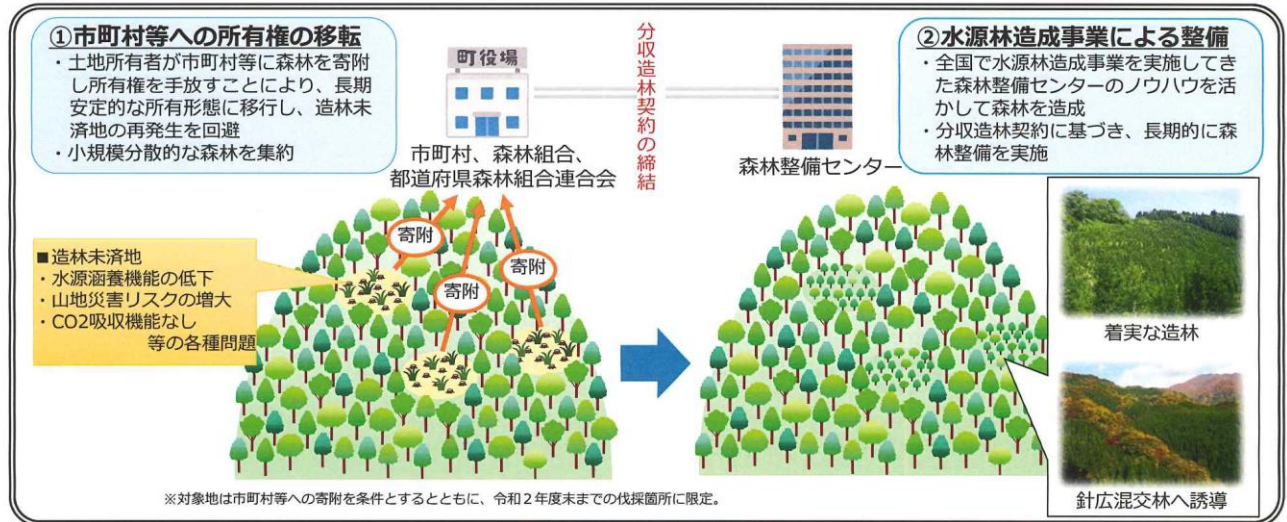
人工造林地に路網を整備することにより、種穂の採取源として活用しやすくする



次に、主伐後の再造林を推進するための対策を紹介します。

### 市町村等との連携による造林未済地解消対策（水源林造成事業（拡充））

- ・主伐後に再造林が行われず放置され造林未済地となっている林地が小規模分散的に増加しており、水源涵養機能の低下や土砂災害の発生が強く懸念されている状況にある。
- ・また、造林未済地はCO2吸収源としての機能も大きく損なわれるため、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて森林のさらなる貢献のため、造林未済地の解消への取組が重要となっている。
- ・このため、重要流域等の造林未済地について、市町村等と森林研究・整備機構（森林整備センター）とが連携し、水源林造成事業により解消を進める。



◆ 将来にわたり水源涵養機能等の森林の公益的機能を確保  
◆ 2050年カーボンニュートラルの実現に寄与

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち

### カーボンニュートラル実現に向けた国民運動展開対策（新規）

【令和4年度予算概算決定額 212,077（-）千円】

#### <対策のポイント>

国民の幅広い参画による植樹等の森林づくりの推進、森林空間利用の促進、建築物等での木材利用拡大の機運醸成を図り、身近な木材利用やエシカル消費等を普及啓発する「木づかい運動」の促進等の取組を支援し、森林・林業・木材産業によるグリーン成長とともにカーボンニュートラルの実現に貢献します。

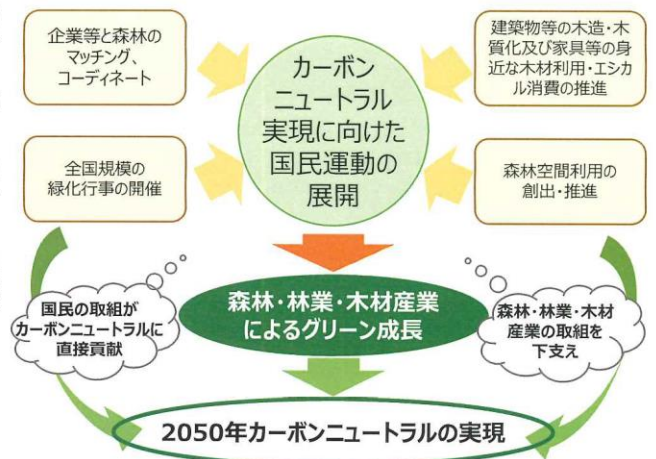
#### <政策目標>

- 国民参加による植樹の推進（1億本〔令和12年度まで〕）
- 国産材の供給・利用量の増加（31百万m<sup>3</sup>〔令和2年度〕→42百万m<sup>3</sup>〔令和12年度まで〕）

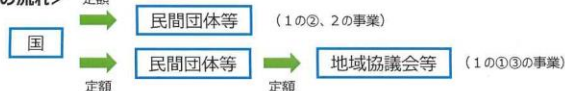
#### <事業の内容>

- 1. 国民参加の植樹等の推進**
- ① 国民参加による植樹等の推進対策 35,788（-）千円  
森林づくりを行いたい企業等と植栽場所のマッチング、コーディネート等を行うサポート体制構築を支援します。
- ② 全国規模の緑化運動の促進 31,792（-）千円  
全国植樹祭、全国育樹祭等の全国規模の緑化行事の開催等を支援します。
- ③ 新たな森林空間利用創出対策 50,312（-）千円  
多様な分野で森林空間を活用する「森林サービス産業」の創出・推進、「日本美しい森 お薦め国有林」での観光利用を推進する環境整備等を実施します。
- 2. 「木づかい運動」の促進** 94,185（-）千円  
建築物等での木材利用拡大の機運を醸成するためのメディア活用やシンポジウム等による情報発信、身近な木材利用やエシカル消費による地域材の選択的購入を進める普及啓発等の取組を支援します。

#### <事業イメージ>



#### <事業の流れ>



※国有林においては、直轄で実施

【お問い合わせ先】（1の事業）林野庁森林利用課（03-3502-0048）  
（2の事業）木材利用課（03-6744-2298）

伐採跡地への植栽は、基本的には、公共事業である森林整備事業の造林補助事業により推進することになりますが、主伐後の再造林が行われず放置されている**造林未済地を解消**するために、重要流域等の造林未済地について、市町村等と森林研究・整備機構(森林整備センター)とが連携し、水源林造成事業(拡充)を行うこととしています。

また、国民の幅広い参画による植樹等の森林づくりの推進を行うこととしています。

### 全苗連・苗組の行事予定

- |        |   |
|--------|---|
| 12月9日  | 第60回農林水産祭シンポジウム(天皇杯受賞 福島県上原和直氏)(三会堂ビル「石垣記念ホール」;東京都港区)(主催;農林水産省・公益財団法人日本農林漁業振興会) |
| 12月22日 | コンテナ苗生産技術等標準化に向けた調査委託事業検討委員会(日本森林技術協会)  |
| 12月24日 | 滋賀県山林種苗協同組合オンライン研修会(*参加方法等詳細は全苗連HPインフォメーションまたは滋賀県山林種苗協同組合HPをご覧ください)             |
| 12月    | 中国地区林業用種苗需給連絡協議会(鳥取県)(書面)   |
| 12月    | 関東地区林業用種苗需給連絡協議会(神奈川県)(書面)  |
| 12月    | 北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(青森県)(書面)   |
| 12月    | 四国地区林業用種苗需給調整協議会(高知県)(書面)   |
| 1月     | 関東地区林業用種苗需給連絡協議会(神奈川県)(書面)  |
| 1月14日  | 1月期林業団体懇談会(日本林業協会)(赤坂インターシティAIR)  |
| 1月28日  | 中央需給情報連絡協議会(林野庁)  |
| 2月7日   | 当年生苗導入調査委託事業検討委員会(日林協会館)  |

#### 【令和4年度】

- 9月29日～30日 第6回全苗連生産者の集い(宮崎県「宮崎市民文化ホール」)